

星義継さんの主な略歴

- (職歴)
- ・大 8年 3月～昭21年 4月 農業に従事
 - ・昭21年 4月～昭30年 3月 福島食糧事務所相馬支所勤務
- (団体歴)
- ・昭32年 5月～昭41年 2月 大館村農業協同組合理事長
 - ・昭41年 3月～昭42年 4月 飯舘村農業協同組合常務理事
 - ・昭41年 4月～昭44年 1月 飯舘村土地改良区理事
 - ・昭44年 1月～昭62年 9月 飯舘村土地改良区理事長
- (公職歴)
- ・昭20年 10月～昭23年 5月 大館村農業会理事
 - ・昭30年 4月～昭31年 9月 大館村議会議員
 - ・昭31年 9月～昭36年 9月 飯舘村議会議員
- (賞)
- ・昭55年 5月14日 福島県土地改良事業団体連合会長功労賞
 - ・昭55年 6月30日 福島県農地等集団化推進協議会長功労賞
 - ・昭60年 3月27日 東北農地等集団化推進協議会長功労賞
 - ・昭62年 5月 7日 福島県知事表彰
 - ・昭63年 11月 3日 勲六等単光旭日章



星 有明さん

これからも元気で
長生きを
家族から

98歳頃から、周りの人たちに「風邪をひかせないように」「などと気を遣っていたのですが、私にとっては逆にプレッシャーに感じてしまい、ここ2、3年が長く感じました。
これからも元気で長生きをして欲しいです。



村で2人目 男性では初めての満100歳



星 義継さん(深谷)

板垣繁幸相双保健福祉事務所副所長から知事直筆の色紙を受け取る星義継さん

星義継さん(深谷)が11月12日に満100歳の誕生日を迎えられました。村の100歳は、今年6月の高池スエさん(草野)に続いて2人目。男性では初めてです。

賀寿贈呈

11月12日、自宅で行われた賀寿贈呈では、はじめに板垣繁幸相双保健福祉事務所副所長から、知事賀寿と記念品の木杯、さらには知事直筆の色紙が義継さん本人へ手渡されました。

続いて菅野村長から、記念樹「サンシユ」の目録と報奨金五万円が贈呈された後、「義継さんは、村のあらゆる役職をされてきた方であり、我々の模範とする方です。これからも元気に長生きをされて、村の行く

末を見守っていただきたい」と祝辞が述べられました。

また、福島県老人クラブ連合会から賀寿が、村老人クラブ連合会からは賀寿と記念品が贈られたのに続き、曾孫の川野咲耶ちゃん(草野)からお祝いの花束が贈られました。

最後に、義継さんが「このように盛大にお祝いをしていただきありがとうございます。皆さんのご好意に対し厚く御礼を申し上げます」と、しっかりと口調で謝辞を述べました。

長生きの秘訣は「くよよ」な家で生活すること

星義継さんは、明治37年11月12日生まれ。趣味は読書で、テレビは相撲や時代劇を好んで見るとか。また、食事は好き嫌いなく残さず食べます。
健康の状況について

いい家でホームでも

義継さんの100歳賀寿

義継さんが今年4月から入居されている特養「いい家でホーム」においても、誕生日を2日後に控えた11月10日に賀寿を祝う会が行われ、入居者やいい家で福祉会の理事、ホーム職員らが出席して義継さんの賀寿をお祝いしました。

ホームの東棟大ホールで行われた賀寿では、職員から義継さんへ花束や千羽鶴がプレゼントされたほか、10本のローソクを立てた特製の大きなケーキも用意。義継さんと職員が一緒にローソクの火を吹き消しました。また、入所者を代表し

て菅野キクさんが「長い間ご苦労されて100歳を迎えたいと思います。私たちの先輩として、これからもご指導をお願いします」とお祝いの言葉を述べました。
引き続き行われた祝い宴では、職員らによる大黒舞や手品などが披露され、和やかな雰囲気の中、みんなで義継さんの賀寿をお祝いしました。

入所者もみんなでお祝い



職員らが演芸を披露



花束を受け取る義継さん



ケーキには1本を10年に見立てた10本のローソクが



▶村から贈られた記念樹「サンシユ」

は、
・目は、見える。
・耳は、大きな声で話しかければ聞こえ、会話もできる。
・生活面は、ほぼ自立している。
「長生きの秘訣は、くよよくよよしないで生活すること」と話す義継さん。
今年4月から特養「いい家でホーム」で、たくさん仲間と一緒に暮らしています。
福島県の資料によると、県内の100歳以上の高齢者数は、11月12日現在で、星さんを含めて341人(男性45人、女性296人)となっています。